

山崎丹照先生著作目録（十三訂稿）

（令和 4（2022）年 7 月 7 日（木）現在）

〔目 次〕

（作成経緯）	2
【参考 HP】	3
【関係 HP】	5
（改訂稿はしがき、初稿はしがき：省略）	6
1 略年譜（省略）	6
2 著作目録	6
(1) 著書	6
(2) 論説その他（抄）	8
(3) 山崎丹照先生関連著作	9
(4) 『外地統治機構の研究』（高山書院、昭和 18 年 7 月 18 日刊）関連文献 『外地法制 誌』一覧	10
(5) （参考）『内政史研究資料』（高橋雄豺氏、土屋正三氏、大野緑一郎氏、村田五郎氏 及び横溝光暉氏）	11

(作成経緯)

・本著作目録は、『栗生武夫先生・小早川欣吾先生・戴炎輝博士・小林宏先生・山崎丹照先生略年譜・著作目録(二訂版) —内藤吉之助教授・金田平一郎博士著作目録(初稿) — —ローマ法・法制史学者著作目録選(第八輯) —』(平成19(2007)年1月1日刊、上山安敏先生の序文あり。)所収の「山崎丹照先生略年譜・著作目録(改訂稿)」を改訂したものである。

(HP 初出: 再訂稿: 平成19年8月18日作成)

・更に、一、二補正した。

(三訂稿: 平成20年7月4日作成)

・昭和9(1934)年中の「乳幼児愛護デーの基調を為すもの」『連帯時報』第14巻第5号(昭和9年5月刊)の件等を補正した。

(四訂稿: 平成20年7月7日作成)

・『大霞』第97号(昭和59年5月1日刊)掲載関係記事を追加するとともに、「(5)(参考)『内政史研究資料』」関係を補充した。

(五訂稿: 平成20年7月27日作成)

・『自警』第15巻(昭和8年刊)掲載関係記事を追加した。

(六訂稿: 平成22年4月7日作成)

・『自警』第16巻(昭和9年刊)掲載関係記事を追加した。

(七訂稿: 平成22年4月11日作成)

・『内閣制度の研究』、『外地統治機構の研究』書評を追加した他、一部補正。

(八訂稿: 平成22年9月13日作成)

・『亀山孝一追想録』所収追悼文等を追加するとともに、その他一部修正した。

(九訂稿: 平成30(2018)年1月8日(月)作成)

・レイアウトを全面変更し、【参考 HP】を新設するとともに、一部修正、追加した。

(十訂稿: 令和3(2021)年7月10日(土)作成)

・全体にわたり補正した。

(十一訂稿: 令和3(2021)年11月13日(土)作成)

・全体にわたり補正の上、『CD 版 宮崎道三郎博士・小林宏先生・西村稔先生・高橋由利子先生略年譜・著作目録【参考篇】【附篇】 —ローマ法・法制史学者著作目録選—』(令和4(2022)年4月1日刊)に収録した。

(十二訂稿: 令和4(2022)年4月1日(金)作成)

・全体にわたり補正した。

(十三訂稿: 令和4(2022)年7月7日(水)作成)

【参考 HP】（令和 3 年 11 月 15 日全面差替、同年 12 月 30 日、令和 4 年 7 月 7 日各一部修正）

* 法制史学会 HP（平成 14（2002）年 10 月 5 日公開、平成 24（2012）年 4 月 1 日移転）

〈<http://www.soc.nii.ac.jp/jalha/toppage.htm>〉 ⇒

（新） 〈<https://www.jalha.org/>〉

・ 〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%B1%B1%E5%AE%89%E6%95%8F>〉

* 全体 HP

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

・ 「日本のローマ法」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Romanist2003.htm>〉

・ 「法制史学者著作目録選（WEB 版）」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・ 本 HP 別稿：宮崎道三郎博士略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miyazaki001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：池辺義象氏著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ikebe001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：中田薫博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakata001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：内藤吉之助教授略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/naito001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：金田平一郎博士略年譜・著作目録

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kaneda001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：小早川欣吾先生略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：「小早川欣吾先生記念メダルによせて

—小田輝子氏「叔父小早川欣吾の思い出」とともに—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/odateruko.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：『小早川欣吾先生東洋法制史論集』収録論稿目次その他」

〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa_toyohoseishi.pdf〉

・ 本 HP 別稿：牧英正博士著作目録等抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/maki001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：小林宏先生著作目録等抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashi001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：千賀鶴太郎博士著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/senga001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：戸水寛人博士著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tomizu001.pdf>〉

- ・本HP別稿：春木一郎博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf)
- ・本HP別稿：原田慶吉教授略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm)
- ・本HP別稿：船田享二博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm)
- ・本HP本稿：田中周友博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm)
- ・本HP別稿：栗生武夫先生略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf)
- ・本 HP 別稿：「栗生武夫先生『婚姻法の近代化』の中訳本について」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf)
- ・本 HP 別稿：「『栗生武夫先生随筆拾遺』作成の思い出
 —『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf)
- ・本HP別稿：「PDF版『栗生武夫先生随筆拾遺—栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯—』」
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf)
- ・本HP別稿：西本頼博士著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf)
- ・本HP別稿：久保正幡博士著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf)
- ・本HP別稿：井上周三教授関係資料抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf)
- ・本HP別稿：上山安敏先生著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf)
- ・本HP本別稿：筧克彦博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP別稿：近藤英吉博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP別稿：増田福太郎博士関係資料一斑
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf)
- ・本HP本稿：山崎丹照先生著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf)
- ・本HP別稿：戴炎輝博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf)

* 和田徹氏HP「私立玉川用賀村中央図書館（新館）」

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/)

- ・春木一郎電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm>〉

- ・原田慶吉電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm>〉

- ・栗生武夫電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm>〉

- ・いろいろ電子文庫

〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm>〉

- ・PD 図書室（「梅雨空文庫」のデータを整理してまとめたもの）

〈<http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html>〉

（註）早くには「船田享二電子文庫」の平成22（2010）年開設予告もなされていた（平成14〈2002〉年12月14日初出か?）が、その後平成18（2006）年6月3日に「2006/06/03 船田享二電子文庫計画中止」の表示が出た。

＊「西村稔先生（1947～2019）年譜・著作目録（阪本尚文編）（初版）（2020（令和2）年4月現在）」⇒爾後逐次改訂⇒（最新版：令和4（2022）年5月現在第7稿掲載）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf>〉

（註）本著作目録は、阪本尚文編『Aún aprendo それでもまだ学ぶぞ——西村稔先生追悼集』（私家版、2020（令和2）年2月28日刊〈福島大学学術機関情報リポジトリ所収〈<http://hdl.handle.net/10270/5154>〉〉に収録した「西村稔先生年譜・著作目録」に逐次修正を加えつつあるものである。

【関係 HP】（令和4年7月7日一部修正）

- ・法制史学会：〈<https://www.jalha.org/>〉

- ・国立国会図書館：〈<https://www.ndl.go.jp/>〉

- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉

- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）

〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉

- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）

〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉

- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉⇒〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

(改訂稿はしがき、初稿はしがき：省略)

1 略年譜

(山崎丹照氏：明治 37 (1904) 年 2 月生、昭和 3 (1928) 年東大法卒、昭和 5 (1930) 年内務省入省。上寿の賀を迎えられた後平成 16 (2004) 年 3 月逝去。以下省略。(令和 3 年 7 月 10 日一部補正))

(参考文献)

- ・工藤恒四郎 (1905～1968) 「畏友山崎事務官を送る―御栄転に臨みて―」『自警』第 15 巻第 168 号 (昭和 8 年 8 月 10 日刊) 72～74 頁 (昭和 7 (1932) 年 7 月 21 日、山崎丹照氏は三年二ヶ月の見習生活を終え、高等官に栄転す(岡山県事務官、学務部社会課長)。)。工藤氏につき下記サイト参照 (平成 22 年 4 月 7 日追加)
<<http://www.okayama-cci.or.jp/kaihou/130year/successive/chairman.html>>
- ・山崎丹照 (1902～2004、岡山県社会課長) 「思出るまゝ―警視庁在職時代を顧みて― (1) ～ (その 3・終)」自警第 16 巻第 173 号 (昭和 9 年 1 月 1 日刊) 121～127 頁、同第 164 号 (昭和 9 年 2 月 10 日刊) 88～92 頁、同第 175 号 (昭和 9 年 3 月 10 日刊) 76～81 頁 (平成 22 年 4 月 11 日追加)
- ・『日本警察新聞』第 974 号 (昭和 9 年 8 月 20 日刊)
- ・『昭和人名辞典』第 1 巻〔東京編〕((株) 日本図書センター、昭和 62 年 10 月 5 日刊)
(底本：『大衆人事録』第 14 版 (帝国秘密探偵社、昭和 17 年刊)) 1043 頁
国立国会図書館デジタルコレクション (577 齣)
<<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1683373>> (URL のみ令和 3 年 11 月 13 日追加)
- ・山崎丹照『外地統治機構の研究』(高山書院、昭和 18 年 7 月 18 日刊)「著者紹介」
- ・秦郁彦 (1932～)『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』(東京大学出版会、昭和 56 年 11 月刊) (平成 20 年 7 月 4 日追加)
- ・秦郁彦『日本官僚制総合事典 1868-2000』(東京大学出版会、平成 13 年 11 月刊)
- ・『日本史文献事典』(弘文堂、平成 15 年 12 月 15 日刊) 1289、1290 頁
- ・戦後は群馬県副知事等を経て、第一東京弁護士会の弁護士として御活躍の由。
- ・さるお方の HP 中の「制度論の山崎丹照」(平成 20 年 1 月 13 日 (日) アップか。例えば平成 20 年 5 月 10 日現在では閲覧できたが、平成 20 年 7 月 4 日 (三訂稿) 現在では HP そのものが閲覧不能。) (平成 20 年 7 月 4 日追加) ⇒その後 HP は復活しており、当該記事改訂稿 (令和 3 年 9 月欄) が見られるようである。(令和 3 年 11 月 13 日追加。)

2 著作目録

(1) 著書

昭和 17 (1942) 年

- ①『内閣制度の研究』(高山書院、昭和 17 (1942) 年 9 月刊。3 円 50 銭)

国立国会図書館デジタルコレクション (令和 3 年 11 月 13 日追加)

<<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1459199>>

【書評】鈴木安蔵 (1904～1983) 「内閣制改革への理論的寄与―山崎丹照氏著「内閣制

度の研究」』『帝国大学新聞』第 921 号（昭和 17 年 11 月 2 日）第 4 面（『復刻版 帝国大学新聞』第 16 卷（不二出版、昭和 60 年 2 月 10 日刊）228 頁に再録。）（平成 22 年 9 月 13 日追加）

【書評】辻清明（1913～1991）「山崎丹照「内閣制度の研究」（昭和 17 年）—特に内閣政治力強化の問題について—」『国家学会雑誌』第 57 巻第 2 号（昭和 18 年 2 月 1 日刊）92～104 頁（平成 22 年 9 月 13 日追加）

【参考】片山杜秀（1963～）「夏裘冬扇 Ⅱ109 東條首相は内閣人事局がお好き？」『週刊新潮』令和 3（2021）年 7 月 15 日号 16～17 頁（令和 3 年 7 月 10 日追加）

昭和 18（1943）年

②『外地統治機構の研究』（高山書院、昭和 18（1943）年 7 月 18 日刊。前枢密院書記官 長村上恭一（1883～1953）の序あり。4 円 69 銭）

国立国会図書館デジタルコレクション（令和 3 年 11 月 13 日追加）

〈<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1276442?contentNo=217>〉

【書評】柳瀬良幹（1905～1985）『帝国大学新聞』第 963 号（昭和 18 年 11 月 1 日（月））第 4 面（『復刻版 帝国大学新聞』第 16 卷（不二出版、昭和 60 年 2 月 10 日刊）448 頁に再録。）（平成 19 年 8 月 18 日追加）

【書評】佐藤功（1915～2006）『法律時報』第 16 巻第 1 号（昭和 19 年 1 月刊）87～92 頁（平成 19 年 8 月 18 日追加）

【書評】佐藤立夫（1912～？）「（解説・批評）山崎丹照（著）「外地統治機構の研究」『早稲田政治経済雑誌』第 92 号（昭和 19 年 1 月 1 日刊）（未見。皓星社「雑誌記事索引集成データベース」に拠る。）（平成 22 年 9 月 13 日追加）

昭和 28（1953）年

③『内閣論』（学陽書房、昭和 28（1953）年 2 月刊）

【書評】矢部貞治（1902～1967）「現代民主政治の重要課題—山崎丹照「内閣論」について」『人事行政』人事行政（学陽書房、人事行政学会編）第 4 巻第 5 号（昭和 28 年 5 月刊）83～88 頁（平成 19 年 8 月 18 日追加、平成 22 年 9 月 12 日補正）

【書評】金子芳雄（1925～2017）『法学研究』第 26 巻第 7 号（昭和 28 年 7 月刊）535～537 頁（平成 19 年 8 月 18 日追加）

昭和 34（1959）年

④『天皇制の研究』（帝国地方行政学会、昭和 34（1959）年 2 月 15 日刊（2,000 円））昭和 36（1961）年

⑤『後白河法皇』（帝国地方行政学会、昭和 36（1961）年 5 月 20 日刊）

平成 9（1997）年

⑥『天皇制の研究 新版』（ミュージアム図書、平成 9（1997）年 8 月 15 日刊。巻頭に山崎氏「復刊によせて」、巻末に「ミュージアム図書」編集部の「例言」あり。後者によれば、本新版は山崎氏 93 歳の時に社長中野吉郎氏がお願いして復刊した由（但し新仮名、新字に書換え。）。定価 4,600 円＋税）

〈http://www.museumbooks.co.jp/shoukai/japan_02.html〉参照。

(2) 論説その他 (抄)

昭和 7 (1932) 年

・(調査中)『自警』懸賞論文「警察権の一部を地方自治団体に移管する可否」二等賞論文
(『自警』掲載号不明)(工藤恒四郎「畏友山崎事務官を送る一御栄転に臨みて」『自警』
第 15 巻第 168 号(昭和 8 年 8 月 10 日刊) 73 頁に拠る。)(平成 22 年 4 月 7 日追加)

昭和 8 (1933) 年

・警察官の武器使用に就て 『警察研究』第 4 巻第 1、3 号(昭和 8 年 1、3 月刊)
・巡査部長試験に就て (1) ～ (3) 『自警』第 15 巻第 164 号(昭和 8 年 4 月 10 日刊)
39～51 頁、同第 165 号(昭和 8 年 5 月 10 日刊) 45～51 頁、同第 166 号(昭和 8 年 6 月
10 日刊) 31～39 頁(この時点: 警視庁警務課教養係長)(平成 22 年 4 月 7 日追加)

昭和 9 (1934) 年

・思出るまゝ一警視庁在職時代を顧みて一 (1) ～ (その 3・終) 『自警』第 16 巻第 173
号(昭和 9 年 1 月 1 日刊) 121～127 頁、同第 164 号(昭和 9 年 2 月 10 日刊) 88～92 頁、
同第 175 号(昭和 9 年 3 月 10 日刊) 76～81 頁(この時点: 岡山県学務部社会課長)(平
成 22 年 4 月 11 日追加)

・乳幼児愛護デーの基調を為すもの 『連帯時報』第 14 巻第 5 号(岡山県社会事業協会、
昭和 9 年 5 月刊)(未見。)

(註記) 当該著作の存在については、最初、下記 HP で判明した。

〈<http://www.annex-net.jp/ks1/detail.php?id=vjBmCTbZ-zc>〉(出典: 「内国雑誌重要記事
索引」/昭和 9 年 〈<http://www.annex-net.jp/ks1/>〉)

ただし、本「明治・大正・昭和前期雑誌記事データベース」の無償公開は、平成 20 (2008)
年 3 月末日で終了し、同年 4 月 1 日から、「雑誌記事索引集成データベース」〈有料〉とし
てサービス開始との由。⇒「ざっさくプラス」)

〈[https://zassaku-plus.com/service/login?return_url=http%3A%2F%2Fzassaku-plus.co
m%2F](https://zassaku-plus.com/service/login?return_url=http%3A%2F%2Fzassaku-plus.com%2F)〉

Nacsis webcat 等では、同誌所蔵図書館が判明するが、遺憾ながら未見。取りあえずは、
社会事業史文献調査会『社会事業雑誌目次総覧』第 13 巻(日本図書センター、昭和 63 年
3 月 25 日刊) 533 頁に、本連帯時報第 14 巻第 5 号の目次が写真復刻されているので、確
認できる。なお、山崎丹照先生は当時岡山県学務部社会課長か。(平成 20 年 7 月 7 日、同
30 年 1 月 8 日各一部修正)

昭和 16 (1941) 年

・改正治安維持法概説 (1) ～ (5・完) 『警察研究』第 12 巻第 3、4、5、6、
7 号(昭和 16 年 3～7 月刊)(肩書: 法制局参事官)

昭和 16 (1941) 年～昭和 17 (1942) 年

・現下行政機構の諸問題 (1) ～ (7 (・完)) 『警察研究』第 12 巻第 8、9、10、
12 号、第 13 巻第 6、8、9 号(昭和 16 年 8 月～同 17 年 9 月)(肩書: 法制局参事
官) ⇒『内閣制度の研究』(高山書院、昭和 17 年 9 月刊) 参照。

昭和 17 (1942) 年

・所謂内外地行政一元化の問題 『警察研究』第13巻第10号（昭和17年10月刊）（肩書：法制局参事官）⇒『外地統治機構の研究』参照。

昭和18（1943）年

・朝鮮総督の地位 『警察研究』第14巻第1号（昭和18年1月刊）（肩書：法制局参事官）⇒『外地統治機構の研究』参照。

（参考）村上恭一（1883～1953、勅選貴族院議員）「大東亜省の出現（上・下）」『警察研究』第14巻第1、2号（昭和18年1、2月刊）（村上は山崎『外地統治機構の研究』の序を書きし人物、前枢密院書記官長）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%91%E4%B8%8A%E6%81%AD%E4%B8%80>〉

・現下海上保険における若干の問題 『海運』第1巻第5号（財日本海事振興会、9月号、昭和18年9月刊）（肩書：前海務院総務課長、現鹿児島県経済部長）

昭和19（1944）年

・（書評）中村哲（1912～2003）『植民地統治法の基本問題』（日本評論社、昭和18年9月刊）『帝国大学新聞』第972号（昭和19年1月31日（月）刊）第4面（『復刻版 帝国大学新聞』第17巻（不二出版、昭和60年2月10日刊）16頁に再録。）（平成19年8月18日追加）

昭和59（1984）年

・昭五会座談会 終戦前後の思い出を語る 『大霞』第97号（昭和59年5月1日刊）（2～28頁）中、山崎丹照「応召で大陸へ」（20～22頁、肖像あり。当時鹿児島県経済部長）（平成20年7月27日追加）

昭和62（1987）年

・進駐軍にファイヤーされる 大霞会編『続内務省外史』（財地方財務協会、昭和62年11月1日刊）331、332頁（当時福島県内政部長）（上記大霞第97号（昭和59年5月1日刊）所載稿の一部転載。）（平成20年7月27日追加）

昭和63（1988）年

・亀山孝一さんを憶う 『亀山孝一追想録』（亀山孝一追想事業実行委員会、昭和63年8月1日刊）345～347頁（亀山孝一：1900～1979）（平成30年1月8日追加）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BA%80%E5%B1%B1%E5%AD%9D%E4%B8%80>〉

（3）山崎丹照先生関連著作

・工藤恒四郎（1905～1968）「畏友山崎事務官を送る一御栄転に臨みて一」『自警』第15巻第168号（昭和8年8月10日刊）72～74頁（昭和7（1932）年7月21日、山崎丹照氏は三年二ヶ月の見習生活を終え、高等官に栄転す（岡山県事務官、学務部社会課長）。）。工藤氏につき下記サイト参照（平成22年4月7日追加）

〈<http://www.okayama-cci.or.jp/kaihou/130year/successive/chairman.html>〉

・『日本警察新聞』第974号（昭和9年8月20日刊）

・『昭和人名辞典』第1巻〔東京編〕（〈株〉日本図書センター、昭和62年10月5日刊）（底本：『大衆人事録』第14版〈帝国秘密探偵社、昭和17年刊〉）1043頁

国立国会図書館デジタルコレクション (577 齣)

〈<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1683373>〉 (URL のみ令和 3 年 11 月 13 日追加)

・秦郁彦 (1932～) 『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』 (東京大学出版会、昭和 56 年 11 月刊) (平成 20 年 7 月 4 日追加)

・秦郁彦 (1932～) 『日本官僚制総合事典 1868-2000』 (東京大学出版会、平成 13 年 11 月刊)

・『日本史文献事典』 (弘文堂、平成 15 年 12 月 15 日刊) に、百瀬孝 (1938～、『事典昭和戦前期の日本 制度と実態』 (吉川弘文館、平成 2 年 2 月 10 日刊) の著者) 「『内閣制度の研究』 (高山書院、1942 年)」 (1289 頁)、同 「『外地統治機構の研究』 (高山書院、1943 年)」 (1290 頁) の両解説あり。

・さるお方の HP 中の「制度論の山崎丹照」 (平成 20 年 1 月 13 日 (日) アップか。例えば平成 20 年 5 月 10 日現在では閲覧できたが、平成 20 年 7 月 4 日 (三訂稿) 現在では HP そのものが閲覧不能。) (平成 20 年 7 月 4 日追加) ⇒その後 HP は復活しており、当該記事改訂稿 (令和 3 年 9 月欄) が見られるようである。(令和 3 年 11 月 13 日追加。)

・片山杜秀 (1963～) 「夏裘冬扇 #109 東條首相は内閣人事局がお好き？」 『週刊新潮』 令和 3 (2021) 年 7 月 15 日号 16～17 頁 (令和 3 年 7 月 10 日追加)

(4) 『外地統治機構の研究』 (高山書院、昭和 18 年 7 月 18 日刊) 関連文献

戦後、外務省条約局法規課より『外地法制誌』が刊行された。『外地法制誌』公刊分は文生書院より復刻されている (全 13 巻、平成 2 (1990) 年 11 月 30 日刊)。ただし、第 6 部『関東州租借地と南満州鉄道附属地』中編 (6-2)、後編 (6-3) は、当時は部内資料として出された (昭和 62 年刊) のみで公刊されておらず、情報公開制度により、平成 16 (2004) 年 3 月に龍溪書舎から復刻 (2 巻) との由である。以下、文生書院版の巻数は「(文生版〇巻)」で示す。

『外地法制誌』一覧

(国立国会図書館蔵書検索資料 〈<http://opac.ndl.go.jp/Process>〉、nacsis webcat、龍溪書舎 HP 〈<http://www.ryuukei.com/9asia/117.html>〉等を利用させていただいた。)

(1) 日本旧領域に関係のあった条約 / [外務省条約局第四課編修] -- 外務省条約局第四課、1955. -- (外地法制誌 ; 第 1 部) (文生版 1 巻。但し、『外地関係法令整理に関する善後措置について』〈外務省条約局第四課編、昭和 30 年刊〉を併せ付す。)

(2) 外地法令制度の概要 / [外務省条約局第三課編] -- 外務省条約局第三課、1957. -- (外地法制誌 ; 第 2 部) (文生版 2 巻)

(3-1) 台湾の委任立法制度 / [外務省条約局法規課編] -- 外務省条約局法規課、1959. -- (外地法制誌 ; 第 3 部の 1) (文生版 3 巻)

(3-2) 律令総覧 / 外務省条約局法規課 [編] -- 外務省条約局法規課、1960. -- (外地法制誌 ; 第 3 部の 2) (文生版 4 巻)

(3-3) 日本統治下五十年の台湾 / 外務省条約局法規課 [編] -- 外務省条約局法規課、

1964. -- (外地法制誌 ; 第 3 部の 3) (文生版 5 巻)

(3-附属) 台湾ニ施行スヘキ法令ニ関スル法律 (六三法、三一法及び法三号) の議事録 / 外務省条約局法規課 [編] -- 外務省条約局法規課、1966. -- (外地法制誌 ; 第 3 部附属) (文生版 6 巻)

(4-1) 制令 / 外務省条約局法規課 [編]; 前編、後編. -- 外務省条約局法規課、1960. -- (外地法制誌 ; 第 4 部の 1) (文生版 7、8 巻)

(4-2) 日本統治時代の朝鮮 / 外務省条約局法規課 [編] -- 外務省条約局法規課、1971. -- (外地法制誌 ; 第 4 部の 2) (文生版 9 巻)

(5) 委任統治領南洋群島 / 外務省条約局法規課 [編]; 前編、後編. -- 外務省条約局法規課、1962. -- (外地法制誌 ; 第 5 部) (文生版 10、11 巻)

(6-1) 関東州租借地と南満洲鉄道付属地 / 外務省条約局法規課 [編]; 前編. -- 外務省条約局法規課、1966. -- (外地法制誌 ; 第 6 部) (文生版 12 巻)

(6-2) 関東州租借地と南満洲鉄道付属地 / 外務省条約局法規課 [編]; 中編. -- 外務省条約局法規課、1987. -- (外地法制誌 ; 第 6 部) (復刻版第 1 巻. 龍溪書舎, 2004.3)

〈<http://www.ryuukei.com/9asia/117.html>〉117 (平成 20 年 7 月 4 日追加)

(6-3) 関東州租借地と南満洲鉄道付属地 / 外務省条約局法規課 [編]; 後編. -- 外務省条約局法規課、1987. -- (外地法制誌 ; 第 6 部) (復刻版第 2 巻. 龍溪書舎, 2004.3)

〈<http://www.ryuukei.com/9asia/117.html>〉117 (平成 20 年 7 月 4 日追加)

(7) 日本統治下の樺太 / 外務省条約局法規課 [編] -- 外務省条約局法規課、1969. -- (外地法制誌 ; 第 7 部) (文生版 13 巻)

(5) (参考) 『内政史研究資料』 (高橋雄豺氏、土屋正三氏、大野緑一郎氏、村田五郎氏及び横溝光暉氏)

(国立国会図書館蔵書検索 〈<http://opac.ndl.go.jp/Process>〉、nacsis webcat 等を利用させていただいた。)

・伊藤隆 (1932~) 「先人の談話録を読もう」 『大霞』 第 153 号 (平成 19 年 7 月 4 日刊) 29、30 頁 (平成 20 年 7 月 22 日追加)

・伊藤隆監修『現代史を語る 1』 (「荻田保 (1908~2003) 内政史研究会談話速記録 / 荻田保 [述]」 現代史料出版、平成 12 年 12 月刊) 等参照。 (平成 20 年 7 月 22 日追加)

① 高橋雄豺氏 (1889~1979)

・『高橋雄豺氏談話速記録』: 第 1 回 (会期: 昭和 39 年 1 月 31 日)、第 2 回 (会期: 昭和 39 年 2 月 24 日) 内政史研究会 (内政史研究資料: 第 12、17 集 (印刷表記に「第 13 集」とあるのは「第 17 集」の間違いの由。)、タイプ謄写印刷)

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%AB%98%E6%A9%8B%E9%9B%84%E8%B1%BA>〉

② 土屋正三氏 (1893~1989)

・『土屋正三氏談話速記録』 タイトル 内政史研究資料 第 59、60 集 出版者 内政史研究会 出版地 東京 出版者 出版年 1967.12 形態 2 冊 25cm 内容細目 第 59 集 土屋正三氏談話速記録第 1 回 (昭和 42 年 12 月 5 日)、第 60 集 土屋正三氏談

話速記録第2回（昭和42年12月19日）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%9F%E5%B1%8B%E6%AD%A3%E4%B8%89>〉

③ 大野緑一郎氏（1887～1985）

・『大野緑一郎氏談話速記録』 タイトル 内政史研究資料 第61～63集 出版者 内政史研究会 出版地 東京 出版年 1968.2-1968.3 形態 3冊 25cm 内容細目 第61集 大野緑一郎氏談話速記録第1回（昭和43年2月5日）、第62集 大野緑一郎氏談話速記録第2回（昭和43年2月23日）、第63集 大野緑一郎氏談話速記録第3回（昭和43年3月8日）（平成20年7月22日追加）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E9%87%8E%E7%B7%91%E4%B8%80%E9%83%8E>〉

① 村田五郎氏（1899～1980）

・『村田五郎氏談話速記録』 タイトル 内政史研究資料 第123集～第128集 責任表示 内政史研究会〔編〕 出版地 東京 出版者 内政史研究会 出版年 1974～1977 形態 5冊 25cm

内容細目 第123～128集 村田五郎氏談話速記録 1（富山県庁時代、東京府勤務時代、大分県警察部長時代）、第129～135集 村田五郎氏談話速記録 2（警視庁時代、厚生省時代、警保局外事課長時代、福岡県総務部長時代、地方局振興課長時代、警保局保安課長時代 1、警保局保安課長時代 2）、第136～138集 村田五郎氏談話速記録 3（警保局保安課長時代 3～4、群馬県知事時代 1～2、内閣情報局次長時代 1）

・『村田五郎氏談話速記録』 タイトル 内政史研究資料 第139～145集 出版者 内政史研究会 出版地 東京 出版者 出版年 1981.10～1983.3 形態 3冊 25cm 内容細目 第139集 村田五郎氏談話速記録 4（内閣情報局次長時代 2～5、浪人時代 1）、第140～141集 村田五郎氏談話速記録 5（浪人時代 2～4）、第142～145集 村田五郎氏談話速記録 6（浪人時代 5～6、自由国民連合時代、国民協会時代）

（参考）村田光義（1929～2021）『海鳴り—内務官僚村田五郎と昭和の群像』上・下（芦書房、平成23年2月24日刊）（平成30年1月8日追加）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%91%E7%94%B0%E4%BA%94%E9%83%8E>〉

村田光義氏について、「村田光義先生の御逝去を悼みて」警察政策学会資料第115号（令和3年5月8日刊）〈<http://www.asss.jp/>〉546～547P頁参照。（令和3年11月13日追加）

⑤ 横溝光暉氏（1897～1985）

・『横溝光暉氏談話速記録』 第158～160集 横溝光暉氏談話速記録上第1～3回（1973.9～10）、第161～164集 横溝光暉氏談話速記録下第4～7回（1973.10～12）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A8%AA%E6%BA%9D%E5%85%89%E6%9A%89>〉

（了）